

ただいま、愛知県美術館全館所蔵作品展「美の精髓」[11月26日（金）?2011年1月23日（日）]に向けて、展示作業進行中です。今回の展覧会は、「愛知県美術館の名品300」と副題にあるように、愛知県美術館の所蔵作品から名品を選び、10階展示室全室を使ってご紹介するものです。1992年10月に、新たに愛知県美術館として開館するにあたってその準備から現在に至るまで収集してきた様々なジャンルの作品や木村定三コレクション、愛知県美術館が旧文化会館時代に収集してきた作品、そして寄託作品から、優れた名品を展示する予定です。

10月末日で、「あいちトリエンナーレ2010」が盛況の内に終了してから、展示室を片付け、全館所蔵作品展のための展示が出来るように会場を整えるまでに、2週間ほどかかりました。展示室内に作品がなにもない状態から始まったことから、所蔵作品展展示担当の学芸員は、ひたすら展示室と収蔵庫を往復して、作品を展示室に持ってきては展示しています。今回の展覧会では、現代美術の大型作品も展示します。作品の重量や大きさなどから展示作業は慎重に行われ、学芸員や展示作業員の体力勝負でもあります。今週の金曜日から展覧会は始まりますので、皆様に気持ちよくご鑑賞いただくよう展示作業にいらそしんでおります。乞うご期待ください。

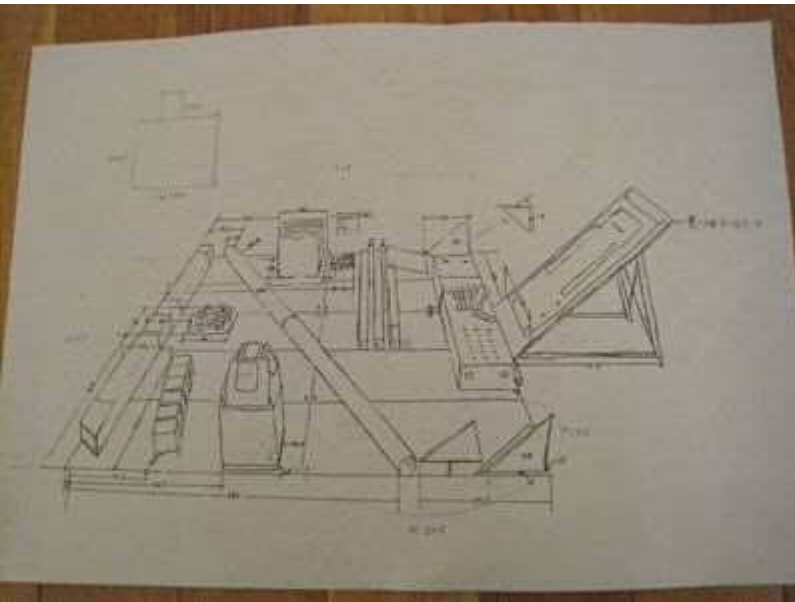
(M.F.)



↑ 若林奮 《大気中の緑色に属するもの?》 展示作業風景



↑ 材質が鉛のため非常に重く、あうんの呼吸で力を入れて運びます。



↑ 細かく展示位置が指定された設計図。この通りに計測しながら展示します。



↑ようやく展示終了。作業には、1時間半かかりました。



↑日本画の展示作業の様子。